

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	臨時福祉給付金給付事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	01	01	05	51
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課					
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	矢口 道夫					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	平成26年度市民税（均等割）が非課税の方	意図	平成26年4月1日から消費税が5%から8%に引き上げられたことに伴い、所得の低い方々への負担に考慮し、暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を支給するものです。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・支給対象者 26,240人 ・支給対象者1人に1万円 ・支給者の中で次に該当する方は5千円加算（①高齢者基礎年金、障害者基礎年金、遺族基礎年金等の受給者 ②児童扶養手当、特別障害者手当等の受給者） 			
事業開始から現在までの状況変化	平成25年度は臨時福祉給付金制度の周知を図るため、パンフレットの印刷を行い、平成26年度に入り自治会等に配布。 平成26年7月7日から12月8日（2か月間延長）まで随時申請受付を行いました。 また、平成27年度も継続し臨時福祉給金を給付を行っていきます。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
①	パンフレット印刷部数		75,000			↓↓↓	
②	臨時福祉給付金の支給決定を行った人数			18,579	件	↑↑↑	
③	臨時福祉給付金の支給決定を行った人数の割合			70.80	%	↑↑↑	支給決定人数÷支給対象者 18,579人÷26,240人
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成24年度	平成25年度	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・支給対象者26,240人 ・発送件数 17,973件 ・支給額 10,000円×18,579人=185,790,000円 5,000円×9,821人=49,105,000円 合計 234,895,000円 			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,575,375	268,385,899				
事業費(b)(円)		876,675	251,294,000				
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		698,700	17,091,899				
人役・職員(人)		0.10	1.50				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)			4.00				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	特になし	③取り組みの課題	<ul style="list-style-type: none"> 1 適正な支給方法の確立 2 支給対象への周知徹底 3 受付会場の確保
②今年度(H26)に実施した取り組み	支給対象者に申請書送付し、給付金の支給決定を行った。	④今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> 1 口座振り込みを基本に取り組む 2 広報・ホームページ・公共施設へのパンフレットの配布を行い、支給対象者が申請漏れのないよう周知を行っていく。